

4 人づくりとまちづくり活動の推進

【主な取組】

(1) ※協働による持続可能なまちづくりの推進

● ※市民センターにおけるまちづくり活動の支援

- ・ 多様な主体が集い学び合うことができる学習機会をつくることで、持続可能なまちづくりに関わる人材の育成を促進します。
- ・ 習得した知識や技能をまちづくり活動で発揮できる場づくりを勧めることで、持続可能なまちづくりにかかわるきっかけをつくります。



平良市民センターの地域自治組織と市民センター職員による役員会議

● まちづくり拠点の充実・整備

- ・ 長寿命化計画に基づき、市民センター等の施設を快適に利用できるよう維持していくため、適切な時期に施設の改修を行うとともに、効果的な資産の活用を目的に、建て替えの際には複合化も検討していきます。

(2) 生涯にわたる学びの推進

● 全ての人に対する学習機会の提供・学習支援の充実

- ・ 全ての人があつても自由に学習活動を行うことができ、その成果が生かせるよう、学習機会の提供や学習支援の充実を行います。
- ・ 学習活動などを通して、生活の中で気軽に「つどう」場をつくります。
- ・ 人生100年時代を見据えた生涯にわたる学びの支援を行い、その学習成果により生活が豊かになり、地域活動等に活かすことのできる生涯学習社会の実現に、より強く取り組みます。
- ・ 少子化による人口減少、急速な高齢化など、地域社会を取り巻く様々な課題について学習機会を提供し、「まなぶ」ことへの支援を行い、個人の成長と地域社会の発展につなげます。
- ・ 企業や学校、団体、個人など多様な主体が課題に向き合い、課題解決に向けて市民が主体的に取り組めるよう、地域の方と様々な主体を「むすぶ」ことを通して、住民相互のつながりの形成を促進し、地域の持続発展につなげることを目指します。



大学連携による公開講座

● 図書館サービスの充実

- 令和2年3月策定の廿日市市図書館基本計画の基本理念「心地よく過ごせる場所～行ってみたい図書館、また行きたくなる図書館へ～」を目指します。
- 大野図書館では、*筏津地区公共施設再編整備に合わせて、施設の*バリアフリー化などの環境整備を進め、利用者が心地よく過ごせる空間づくりを行います。
- 図書の受取・返却のポイントを増設し、図書館から離れた地域でもサービスが受けられる仕組みをつくりまします。
- 情報のデジタル化に対応した資料の収集と提供を行います。



保護者と児童を対象としたおはなし会

● 家庭・地域における食育の推進

- 大野学校給食センターを食の拠点として、食育の一助となる活動を推進し、家庭・地域を巻き込んでの食育推進施策をモデル的に展開し、その成果を他地域に普及します。

【指標】

	指 標	現状値 (R元年度)	目標値 (R7年度)
(1)	全主催事業における地域課題解決事業の割合	37.0%	全主催事業の1/3程度
	市民センターリニューアル工事の件数	3件	計画件数
	地域の行事に参加している市民の割合 (まちづくり市民アンケート)	44.4%	57.1%
	地域の事業に参画している市民の割合 (まちづくり市民アンケート)	28.2%	29.5%
	市民センターが利用しやすいと思う市民の割合(まちづくり市民アンケート)	44.2%	50.0%
(2)	図書館を利用する市民の割合	36.0%	40.0%
	全市民センターが主催した事業数	—	200事業
	市民センターのクラブや目的内の学習での利用者	115,210人	120,000人